

2020年3月10日
テオリア第90号

定価 350円
毎月10日発行
定期購読料 年間 4000円
半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

θεωρία テオリア

発行 研究所テオリア
東京都北区田端1-23-11-201
TEL&FAX 03-6273-7233
ホームページ
http://theoria.info
E-mail: email@theoria.info

「3・11」から9年の原発と福島



富岡町の避難者の住民自治の核となっていた「ほっこりカフェ」

「3・11」から9年の
原発と福島

安倍政権は、公選法違反の桜を見る会での有権者買収などについての虚偽答弁、憲法・法律よりも自らを上を置く検察人事への介入と、腐敗と独裁政治化の様相を強めている。

一方、新型コロナウイルス肺炎(COVID19)が世界的に流行の様相を見せている。権力私物化・独裁化を進める安倍政権は新型コロナウイルス問題を最大限政治利用している。

1月、中国武漢での新型コロナウイルス流行拡大に対して、中国人、帰国者に対するヘイト・差別が相次いだ。これは「有害な人や物は常に外国から来る」と発想する排外主義そのものだ。

藻谷浩介は、インフルエンザ死者は日本で19年1〜9月に3000人超え。アメリカでは今冬流行拡大で2200万人が感染、1万2千人が死亡(新型コロナウイルスは2月20日までで世界の感染者7万人台、死者2千人強)。それでも、米国の入国制限の声は出ておらず、既存インフルエンザの死者数に触れないまま、新型の脅威だけが騒がれていることを指摘している(毎日新聞、2月16日)。

安倍政権の水際対策でウイルス流入を阻止できるという当初の対応はクローバル化の現実を無視した妄想であり、対策の遅れにつながった。(6面に続く)

国連・憲法問題研究会講演会
東京五輪は
オリンピックの終わりの始まり
谷口源太郎(スポンジジャーナリスト)
4月4日(土)午後1時45分開場、2時開始
文京シビックセンター5階会議室C
1000円(会員500円)
研究所テオリア

座標塾第16期 (2020年3月〜11月)
第1回 左派ポピュリズムに可能性はあるか
3月20日(金) 大井赤亥(東京大学他非常勤講師)
第2回 MMTは日本の救世主たりうるか
5月15日(金) 白川真澄(ヒールズ・プラン研究所)
第3回 ポスト資本主義の構想(1)
——これまでの理論的蓄積から学ぶ
7月17日(金) 白川真澄
第4回 気候変動危機とどう向き合うか
9月18日(金) 宮部 彰(緑の党運営委員)
第5回 ポスト資本主義の構想(2)
——オルタナティブは
11月20日(金) 白川真澄
午後6時30分開始〜9時終了
会場 文京シビックセンター(2回目以降予定)
参加費 通し4000円(会員2500円)
1回1000円(会員500円)
※要申込 email@theoria.info
03-6273-7233

インフォメーション
止めよう辺野古新基地建設ー辺野古裁判勝利3・6首都圏集会
3月6日(金)午後6時半/日本教育会館/実行委員会
3・20さよなら原発全国集会
3月20日(金)12時半/亀戸中央公園/市民の会

紙面紹介
福島とともに考え進んでくれないか 平田誠剛 2〜3面
福島事故9年の原発と反原発の動き 小倉正…… 4面
移民社会・日本の課題(中) 島井一平…… 5〜6面
新型コロナウイルス 6面/反貧困集会…… 8面
嫌韓ナショナリズムと植民地主義(下) 今田真人 7〜8面

福島とともに考え、

ともに進んでくれないか

平田 誠剛

大震災義援 ウシトラ旅団

3月11日がくれば、東日本大震災・福島第一第二原発の事故から9年、10年目の苦闘に福島の人々はむかふことになる。「大震災義援ウシトラ旅団」が主な活動の舞台としてきた「泉玉露 応急仮設住宅」はすでに昨年春に閉鎖になった。むろん、無理強いに引き場のない人々を追いつけず、いかに暮らしている。

泉玉露 応急仮設住宅はいわき市で作られた富岡町の仮設住宅で、多いときには450人ほどが生活した。各地を転々としてきた富岡

町の避難者が、震災の年の9月から11月にかけて入居してきた。その規模の大きさと、住民自身による活発な活動で、いわき市における富岡町住民の「拠点」となっていたところである。

住民自治の核になっていた「ほっこりカフェ」の活動は、いまは近所の「泉ヶレイス教会」で相変わらず盛況である。

富岡町はいわき市から北へ60キロほど、事故当時人口1万2000人の双葉郡では比較的大きな町だった。双葉郡の行政機能の中心を担っていたらしい。



この町には福島第二原発が立地しており、大震災の折にひとつ間違えば福島第一原発同様の事態に至る事故を、あの日に起こしている。一時は全電源喪失で原子炉を冷却できなくなり、その後辛うじて福島第一のような破局を免れただけなのである。

富岡町は、福島第一がある大熊町の隣にあり、福島第一と第二は10キロと離れていない。そのため緊急の避難がもっとも必要とされた町のひとつであった。

福島の状況は思いつくまま列挙しても、第一原発汚染水の海洋放出（取ってつけたように大気放出も並べた）、最後に残った双葉町の避難指示解除（聖火リレーへの双葉ルート選定）、中間貯蔵施設の扱い、東電の拒否が一般化してきたA

DR、避難先定住を選んだ避難者支援の今後、自主避難者への住居追い出し方針（社民党まで追出し訴訟に賛成票を投じる県政・県議会の惨状）、子どもたちに出ている甲状腺の異常と定期診断の行方、東電経営者の原発事故責任を問う刑事裁判への取り組み……、それ

にいわきから拠点を双葉郡へ拠点に移している原発労働者の待遇・健康問題（福島第一で過労死した労働者遺族や、白血病を発症した元労働者の裁判など）、どう解決をつけられるかさえ、定かにならない課題が山積みである。

今回は、富岡の避難者について話をもとに、現在の福島県、とくに浜通り（福島の双葉ルート選定）、と呼ばれる地域について報告しよう。

「パフォーマンズだろ、やっってることは全部」
——富岡からの避難者Sさん

Sさんは泉玉露仮設で自治会の役員をやっていた。団塊世代である。「年上に対する敬意というものを知ら

男だよ。口が悪いので私は気が合っている（と思

う。いまも「ほっこりカフェ」の常連である。地震時、老いた母、妻、二人の子供がそれぞれ別々に学校の体育館や友人のところに避難した。それが原発事故による避難に切り替わってしまった。家族バラバラになったのが一つになったのは、あちこちの双葉郡の町々を探し歩いて、4日かかっている。食うや食わずだった。関東の親戚を頼った暮らしだ。泉玉露で家族で一緒に少し落ち着けたのは、震災の年の10月になってからだった。

よく聞く話だが、母の認知症は一気に進み、このいわきの避難先で亡くなった。「避難解除になったら、帰ると言っただろうな。子どもたちはいわきで結婚し、子供もできた。家は富岡時代より小さなものをいわき市内に建てて、妻と二人暮らしだ。双葉郡の人たちは三世代で暮らす家庭が多かった。それがほとんど避難の暮らして崩壊した。若い親は幼い子供を連れて双葉郡に戻るわけがない。「帰ってきてよ。だけど、帰

れない」。墓をどうするかで妻と話した。富岡に住んでいた証として、それだけは残して家は解体した。母の友人たちも、こちらへ住む人が多い。だが、いわき市民の目はそんなに暖かくはない。補償金をもらって金持ちだろう、という敵意の矢が飛んできて、老人たちは家に引きこもる。

富岡へ帰った人たちは復興拠点とされる住宅に住む。多くは一人暮らしか夫婦ふたり。いわきに残る人たちは、東電からの賠償金に多くはSさんのように、つましい暮らしで貯めた金を加えて家を建てた。あるいは県営の復興住宅へ入っていた。

これまで町の杜協などが行ってきた各種のお茶会や趣味の集まりなど、この3月でほとんど姿を消す。泉玉露は「ほっこりカフェ」が継続したのは住民が主導的に運営してきた財産があったから、とも言える。

町の方針は重点を富岡町に移す、である。だから、避難先の活動は途絶える。「医者はいない、買い物もろくにできない」ところへ戻す方に手厚く、そして、戻らぬ住民はそのサービスから切り捨てられる、というわけだ。

1500人が富岡に戻るという話にSさんはまともに取り合おうとは思わない。1割にも満たぬ住民が戻るというのを、復興だとパフォーマンスしているのだと。心配はこちらで家から

出ずに朽ち果てていく年寄りたちのことだ。怒りは蹲っている。「俺たちの町を壊して、責任を誰も取らないのが許せない。町を壊され、いま仮設も壊され、そこからまた新しいコミュニティを作っていくのに、どれだけのエネルギーがいるか」と思っているんだ。

避難者たちは原発について本当のところどう思っているんだ？ と聞かれることがある。私が知る限り、政府のやり方への底で怒っている人がほとんどだ。東電のADR和解案拒否に憤り、浪江町のように闘わない自分の町を呪う。「何が再稼働だ。止まってる間だってなんとかやれじゃないか。みんながちよっとがまんすればいいじゃないか」

復興路線、帰還路線によって、切り捨てられていく自分たちを顧みて「そんな奴らに『避難者に寄り添う』なんて言葉を使ってほしくない」とSさんは吐き捨てた。

穏やかな富岡町民には珍しい突貫小僧である。いまは千葉に家を建て、ときおり泉玉露に姿を現す。これもまた遠慮ない間柄なので「何やってるんだよ。自分を食わす道を考えんか。なにがNPOだ」「んだね。やっぱ焼け太りしたHさんに学ばなきゃな」

Hさんは口とは裏腹にやさしい人である。躊躇なきゼネバを掲げて東電との交渉を臨んだ。そしてその成果を町民に知らせ、マニュアルを授けていた。題して「損害賠償勉強会。私達ウシトラ旅団が初期のうちには彼に評価されたのは、査定の専門家を派遣してその講義を開いたからだった。

や、取れたのは自分が考えた7割くらいのもだったな」と語る。それよりもっと深い問題は、彼が兄弟や親戚を支えるために海外での暮らしを含めて営々と築き上げた、故郷の土地や美しい田舎をそのまま表現するよう、じいさんの代から続く家を一挙に失ったことだろう。その家、土地のことを彼は「清浄なもの」と表現した。彼を作り、祖霊とつながるものをいっきに断ち切られたのである。

取り壊される前の平屋は美しく、そして自ら山から採ってきた木々や大切に育てた植木は見事だった。大地から切り離される絶望も、彼は知っている人だった。

町民のことをおとなしく

て無気力で自分の頭で考えることをしない「ボンソク」と罵倒しながら、町民を見捨てる側には立たない人だ。

口にはしなくても、それぞれの町々の首長や有力者がどういうふうか、東電とつながっているのか、それ甘い汁を吸ってきたのかをその裏やカラクリまで、町民はよく知っている。

「分断」ということばは福島を語るキーワードだが、そこには避難者を生み出した町々の、持てるものを持たざるものが原発事故以来叩き込まれた関係も大きく関係している。もともと原発に依存する地は、その構造があったに違いない。事故以来、それは除染や原発事故収束、復興事業の利権に結びついた。除染は数年間、福島県の最大事業だったし、これから先も続く原発や復興事業は、セネコンや東電につながる地元土建業者たちのドル箱である。

「原発が爆発して、いい思いしている奴らはいらんだよ。この玉露で気力をなくして死んでいく者のことなんか眼中にねえよ。これやらもっと地獄だよ。そんな谷間に落ちていくものたちをなんとかするのが俺の残りの仕事だ」

彼自身も心臓病に倒れたが、持ち直してくれた。「余人をもって代えがたしなんだからよ、死なないでね」。私はこればかりは真剣に願っている。

町民のことをおとなしく

「いどものいまど、」

この先が心配です

— 某TV局ディレクター —

子どもたちに実施されて... 風評被害... 打ちきり... 心配... 小学生の頃から付き合ってきた兄弟...

ディレクターが心を痛めたのはこの件ではない... 双葉郡にアイデンティティはすでにないことである...

ディレクターが言う心配とは「遊ぶべきときに外で遊ばなくて、ストレスばかりをためて、心身に影響が出ている」子どもたちのことである...

「国も県もどうしていいのかわからないのじゃない?」 某認定NPO代表者

「分断」をもつとも必要と... 内堀知事のよ... 猫なで声のも... 福島県行政は国から



の復興資金で食いつないできた。内堀知事がよくわか... 復讐問題、そして浜通り... 清水建設の担当者を抱き...

う。事故以来、大手ゼネコ... 日本という国は原発事故... 以来、決定的に変わってし...

脇に放射性廃棄物の貯蔵地... 政府の方針は、避難者を... 都市部の人口に溶解させ...

主張する人たちができてきた... 最後の避難指示解除に向か... う隣の双葉町の動向を見据...

彼は一方で、いわき市民... 中通りや会津を慰めるた... めには、避難者の存在や自...

「分断」の上にはバラ... 俗情を... 双葉郡のある町の役場職...

私が知る避難者の大多数... は復興の掛け声では救われ... ず、県民減少を食い止めよ...

「開票後の車には『東電に勝った!』の電話がかかり続けた」 大熊町町議選候補スタッフ

ウシトラ旅団は初期から... つきあいのあった女性候補... のスタッフとしてひとり...

「現場で悩み、一緒に苦労するやつが必要だ」

原発とともにあった双葉... 郡は、原発事故以降の廃炉... 作業でますます原発への依...

福島原発事故から9年の

日本の原発と反原発の動き

小倉 正 原発さよなら 四国ネットワーク

自己紹介を兼ねて

頂いたお題は身に余る大会など各種集会へも、四国ネットワークのメンバーとして多数回出てきました。自分は市民団体「原発さよなら四国ネットワー」で活動しています。年一回、秋の伊方原発現地の集会を主催する事務局がこの団体名を名乗って他の活動もしています。県議会、市議会へ各種請願多数を出して働きかけをするも、争点にまではならないままです。



1月17日、広島高裁

再稼働阻止全国ネットワークが設立されてから呼びかけてきた川内原発、高浜原発現地の再稼働阻止集

17年12月の決定で1年近く伊方原発は運転差し止めとなりまし

た。その後同じ広島高裁での異議審、広島地裁第二仮処分を経て敗訴したこともあり、2018年10月には伊方原発は

再々稼働してしまいました。山口県の原告団が始めた仮処分の広島高裁抗告審でも2020年1月に再び運転差し止め決定が出されており、現在は運転差し止

め中。四国電力は異議審の申し立てを行ったところ

です。

「はんげんぱつ新聞」の(現地)編集委員のうちの一人です。年一回ほど地元

の原発関係の記事企画を担当します。

「上関原発に反対する松山の会」の創立メンバー。山口県の上関町長島にある同原発建設予定地からみて風下の真東68キロメートルの位置にある愛媛県松山市の住民です。

ブルズ・プラン」2020年春号に原稿を書かせていただいていますので、記事

を手に入れる方はご参照ください。

政治党派としては、緑の党グリーンズジャパンの地域代表協議会委員。今年始まった「ストップ気候の危機キャンペーン」にも参加機

機キャンペン」にも参加しています。

また地元の無所属市民派の愛媛県議、松山市議の関係者でもあります。一昨年の

首長選挙では愛媛県知事

廃炉に向かう伊方原発

ここからは考察と背景説明です。

第一に、伊方原発は廃炉

に向かう可能性がありま

す。(災害をもたらす立地上

の特殊事情により)

はんげんぱつ新聞20年2

月号に書きました記事から

一部抜粋。

温暖化(気候の危機)問題でXR(エクスティンク

ション・レベリオン『絶滅

への叛逆』)日本のツイッ

ター担当をしています。本

家イギリスのXRは、大衆

が参加する逮捕覚悟の非暴

力直接行動という荒業で世

論を変え、成果を上げつつ

あることを驚嘆してウォッ

チ、紹介しています。(この

気候の危機問題とXRを始めとする社会運動の現状報告については季刊誌「ピー

選で敗北した(共産党系)候補者の応援にも関わりました。

自分自身は記録係として、ツイッター上のアーカイブを記録することを自分のミッションだ、と思っ

ています。「20年2月後半の脱原発」XR日本/XJapanのツイートより

その9 20年2月後半」はその最新版です。

(https://togetter.com/id/togura04)

「四国電力は特重施設の未建設問題で21年3月下旬に猶予期間が切れて規制委員会から停止命令が出るまでの11ヶ月間は伊方原発3号機を動かそうとしていますが、取らぬ狸の皮算用

日本の反/脱原発 運動は行き詰まりか

第二に、原子力規制委員の無能さが明らかになりつつあり

ます。

伊方原発を囲む4県の仮処分包囲網で勝訴例は2回、それも別々の争点であり

ました。地震・津波・火山噴火といった、東日本大震災を彷彿とさせる自然災害の論点も多数あります

(南海トラフ巨大地震、中央構造線断層帯の起源という

理学的な論争が開始して

おらず、敷地から数百メートルの沖合海底に震源活断層がある怖れ、阿蘇カルデラから160キロ以内という

立地不適合問題、仮処分決定後の後出しの文書「火山ガイドについての基本的考

え方」によって不当に小さな規模の噴火火山灰だけ考慮することにした原子力規制委の泥縄姿勢)。

実は裁判では(まだ)使っていない争点もあります。

南海トラフ巨大地震の津波時に四国中の火力発電所が被災し、四国全域の5ヶ月

8ヶ月という長期広域停

ますから、そちらで勝訴が出れば、5年10年と経ってからは調査をせざるを得なくなり、その結果によっては? と四電にとっては泥沼化持ちこたえられなくなるでしょう。

「伊方原発の終わりが見えてきた」と言ってみたい誘惑に駆られます。」

正直言って、明るいニュースを聞かないことが続いています。安倍政権の常軌を逸した振る舞いを結果的に許してしまっている

政治的なアパシーが反映しているのでしょうか? 関電のワイロ事件ももちろん相手方への打撃にはなっていない、必要であったからおこされたのだ。(本『そろそろ「社会運動」の話をしよう』田中優子編より)

はんげんぱつ新聞の2月号には「なぜ脱炭素化が必要か」と題して、西岡秀三氏(元IPCCのオースター)に記事を書いていただきました。あのクレタ・トゥーンベリさんが言っている「科学者の言うことに政治家は耳を傾けてください」という時の科学者の話、カーボン・バジェット(炭素予算)の話は、この記事の中のグラフから直接導き出されるものです。

自分達の間だけで通じるIPCC陰謀論に閉じておらずに、自ら解決策の一部になろう、という呼びかけをしたいです。つまりXR日本にご参加ください。

気候危機名目に原発建設

気候の危機を名目に、再び新規建設(上関原発計画など)にねじを巻いてくるか? もしもありませんが、それは名目にしてはいるのに過ぎません。闘いの準備を。

2021年のエネルギー基本計画改訂時には、ただちに原発増設が200基ほど必要だ、と記述されるでしょうが、そんなこと

いえる争点が山積みですから、次の大震災に備えないまま、あまりにも無防備なまま伊方3号機の再稼働を許してきた原子力規制委には、当事者として規制を行う能力が欠けている、ということが司法による批判で断定されつつあるので

す。

「権利、とりわけ人権という概念は江戸時代にはない。権利があったから一揆がおこなわれたわけではない。必要であったからおこされたのだ。(本『そろそろ「社会運動」の話をしよう』田中優子編より)

はんげんぱつ新聞の2月号には「なぜ脱炭素化が必要か」と題して、西岡秀三氏(元IPCCのオースター)に記事を書いていただきました。あのクレタ・トゥーンベリさんが言っている「科学者の言うことに政治家は耳を傾けてください」という時の科学者の話、カーボン・バジェット(炭素予算)の話は、この記事の中のグラフから直接導き出されるものです。

自分達の間だけで通じるIPCC陰謀論に閉じておらずに、自ら解決策の一部になろう、という呼びかけをしたいです。つまりXR日本にご参加ください。

の反原発運動の中で非暴力直接行動を活用するべくトルもありますが、反原発運動に関わる人たちが自身が気候の危機問題に危機感を持って動きを作り出すべくトルも「どちらも」必要だろうと考えます。

気候の危機に対して反逆するというXRのレベルフォーライフ(いのちのための叛乱)の呼びかけに答える人びとは日本には現れないのか? いやいやそんなはずはありません。

「権利、とりわけ人権という概念は江戸時代にはない。権利があったから一揆がおこなわれたわけではない。必要であったからおこされたのだ。(本『そろそろ「社会運動」の話をしよう』田中優子編より)

はんげんぱつ新聞の2月号には「なぜ脱炭素化が必要か」と題して、西岡秀三氏(元IPCCのオースター)に記事を書いていただきました。あのクレタ・トゥーンベリさんが言っている「科学者の言うことに政治家は耳を傾けてください」という時の科学者の話、カーボン・バジェット(炭素予算)の話は、この記事の中のグラフから直接導き出されるものです。

自分達の間だけで通じるIPCC陰謀論に閉じておらずに、自ら解決策の一部になろう、という呼びかけをしたいです。つまりXR日本にご参加ください。

座標塾第15期第5回

移民社会・日本の課題

鳥井一平 移住者と連帯する
全国ネットワーク

(中)

二七警官による

強制帰国事件

そして、強制帰国。実習生から保証金の預かり証を見せてもらった。今は保証金というのは禁止されて、名前が変わっている。何かという50万円から100万円のお金を預けて日本にくる。3年何もなくて帰ると、確かに返ってくる。しかし、50万や100万の大金持ってない。借金をして預けてくる。あるいは借金の証文を作ってくる。だから途中帰国が一番怖い。これを見せしめに使う。お前ら、余計な事を言うて帰らせるから、と。

バスが用意してあって、農協、農家の人もいっぱい来ていた。連れていかれる。スタッフに連絡を入れて、とにかく成田の中国国際航空のカウンターに行ってもらった。そうしたら、無理やり空港に連れてきて、強制帰国させようとした。出発ロビー前で大騒ぎになった。技能実習生らは在留資格を持っているわけですから、どこへ行っても自由。警察だといっても腕をつかんざりしてはいけません。大きな声でやり取りしているわけですから、どうなるかという、成田空港の空港警察の制服警官がおおせいで来た。

しかし、構造は全く変わらない。これまで研修が6万、7万人いたのが、技能実習に変わったら、研修は655人。本当の研修は1%しかいなかった。私たちの社会がインチキをしてきた。本当の研修だったら、国籍もそんなに偏らない。技能実習になっても、実態が変わらない。

なぜか。この制度で失踪率が増えたことはいない。失踪率が増えたのは全体の数が増えているから。10万だったのが、36万になれば、数は当然増える。失踪率は近年2〜3%で4%といったことがない。韓国で以前、産業研修制度という日本の制度をコピーした制度がつけられたが、これは失踪率が80%を超えた。ある意味で健全。逃げる自由がある。日本は逃げる自由がない。逃げる借金、強制帰国。他の会社に行けない。

失踪できない、逃げる自由がないという制度。だから、社長を邪悪に変えてしまう恐ろしい制度。先ほど、トイレに行った数を数えている社長がいた。彼女たちが具合が悪くて寮で休んでいると、布団の横に潜り込んでくる。とんでもない社長。でも、見た目はやさしい社長だった。

ある年の12月6日に組合事務所に、栃木県のイチゴ農家で実習している実習生が4人相談に来た。15人の内の4人。1年365日一日も休みがない。パソコン禁止、ケータイ禁止、パスポートも取り上げられ、時給も500円。どうにかしてほしいと。

3日後、朝早く電話がかかってきて来ました。私は新幹線で東京・大阪移動しているときだった。今トイレから電話していると、15人が働いている農家に5人の警官が来て、解雇だ、帰れと言われた。マイクロ

改定後も、例えば石川県の小松空港での強制帰国事件があった。茨城の農家で働いていて、農作業で手が荒れる。日本人は使い捨ての手袋をもらえるのに、技能実習生はもらえない。建設での受入れは増えていくが、住むところが悪い。アパート1室を板で仕切って3人で住まわせるとか。暴力事件も多い。18年、川崎ではベトナム人実習生を蹴り上げている。また、カンボジア人実習生がヘルメットの上からハンマーで殴られた。彼は毎日胸がつかまれ、罵声を浴びせられていた。メンタルヘルスケアが必要になって、私たちが保護した。労災認定になって、今はカンボジアで元気にやっている。

なぜか。この送り返し機関との契約書を見ると、エイズ、慢性病、妊娠の場合、強制帰国と書いてある。ムチャクチャな話だ。エイズや慢性病だつて働くことはできない。人権はどうなる。妊娠したら、産休・育休の権利がある。行政や会社は、送り出し機関がやっていること言いつくす。受け入れの監視団体の差し金でやっている。日本側は解いている。18年に取り組んだ事件でも、実習生の時給445円だった。変わっていない。白衣の襟をプレスする機械に実習生が指を挟まれた。会社は救急車を呼ばないで、病院に連れて行って、通院で治療させた。病院に対して、バーベキューでケガをしたと嘘の説明をした。今年の6月、縫製工場が火事になると、犠牲者に実習生がいる。強制帰国や時給300円は誰が見たっておかしい。

通の人。その社長が変貌する。なぜなら、著しい支配関係がある。そういう社長も受け入れ1年目はやさしい。冗談を言い合う中で、入管行くぞ、帰らせるぞとか冗談で言う。そうすると、実習生たちは想像以上にヒクッとすする。それを見て、「これはいけるぞ、何をやっても大丈夫」と考える、善良な社長が普通でなくなってしまう。

09年入管法が改定され、10年以降、技能実習1号、点ほ他にもあるが、技能実習の問題点を中心に取ってきた。

人間扱いしない
技能実習制度

技能実習生は独立した人格で対等。労働者は労働力、経営者はお金を持っている。労働力とお金を取引するのが労働契約。賃金など労働条件について交渉して合意したら、働く。民主主義社会における労働契約とは、取引については干渉するが、人格については干渉しない。これが民主社会における労働契約の約束。労使対等原則。これより前の徒弟制、主従法(マスター&サーバン)の時代は人格干渉しまくりに。雇い主が紹介する人と結婚しろとか。さらに前の時代は肉体にも干渉する。手かせ足かせをする。檻に入れる。解雇という概念はない。やめると言われたら、自由になるということ。

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

き合わない、外泊禁止、恋愛禁止、日本の労働組合に加入しない、妊娠したら強制帰国と書いてある。最近、実習生失踪が増えているとメディアが流している。これは全くのミスリード。「不法就労は犯罪の温床だ」というのと同じデマ。

だから、労使対等が担保されない制度は使うべきでない。ところが、20年五輪・パラリンピックに向けての人手不足ということで「日本再興戦略」を改定して、

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

技能実習生は労働契約で労働条件が決まるのに、技能実習制度はがんじがらめになっている。だから、いい法律があっても効力を発揮しない。例えば、日本で3年間働けば300万円稼げるという契約になっている。大体300万円稼げる。残業代を月6、7万円を貯金すれば年90万、3年270万円になる。しかし、どんな労働をしているのか。前述したように月3百時間、4百時間働かないとそうならない。そして、がんじがらめ。契約書には、日本人とは付

新型コロナウイルス肺炎を最大限政治利用

五輪優先で感染拡大させた安倍政権

(1面から続く)

新型コロナウイルスを

改憲に利用

安倍の腹心である世耕弘成(自民党参院幹事長)は1月29日、参院予算委員会の連動参院議員の質疑中に「このシチュエーションで感染症について質問をしない感覚に驚いています」とツイッターに投稿。安倍政権の度重なる虚偽答弁を棚に上げ、新型コロナウイルスを野党攻撃に利用した。

更に安倍自民党は、1100万人都市武漢を封鎖した習近平政権にならうように、感染症対策を口実として人権制限を可能とする緊急事態条項改憲を主張している。

自民党の伊吹文明(元衆院議長)は1月30日に「強制入院などに」周知期間を置かなくてもよくするには憲法を変えないと「緊急事態に個人の権限をどう制限するか。憲法改正の大きな実験台と考えた方がいいかもしれない」(共同通信)と述べた。

緊急事態条項は大規模災害などを口実に、首相が緊急事態を宣言。立法権など権力を内閣に集中させて、基本的人権を制限する条項

だ。野党が指摘しているように、現在の感染症法、検疫法などによって、感染拡大を防ぐために患者を強制的に入院させ、就業を制限できる。空港や港の検疫では、感染が疑われる人が見つければ検査や診察を指示できる。感染が確認されれば受け入れ態勢が整った感染症指定医療機関に入院するよう勧告でき、従わなければ強制的に入院させることができる。

2月1日、政府は新型コロナウイルスを感染症法の「指定感染症」と検疫法上の「検疫感染症」とする政令を前倒し施行した。さらに入管法を拡大解釈し、入国申請時から14日以内に中国湖北省に滞在歴がある外国人の入国を拒否する措置も取った。現行法によっても、これほどの強制措置が取られているのだ。

感染症が改憲の口実にされる一方で、感染症対策を担う国立感染症研究所の研究費は09年60億円から18年約40億円まで削減されている。

伊吹発言に続いて、自民党新型コロナウイルス対策本部(1月31日)では、「憲法改正への理解を国民に求めるべきだ」との声が上がり、

韓国の排外主義を煽り立てながら、経済政策では中国からの観光客(インバウンド需要)に依存している安倍政権のあり方の反映と見える。(アベノミクスで唯一目標を達成しているのがインバウンドだ。)

安倍政権はどこに向かっているのか。第2次政権の7年間を見れば、「圧政に向かわない」のではなく、圧政を圧政と呼ぶことが許されない社会に向かっている。

安倍政権はどこに向かっているのか。第2次政権の7年間を見れば、「圧政に向かわない」のではなく、圧政を圧政と呼ぶことが許されない社会に向かっている。

安倍政権の新型コロナウイルス対策は矛盾をはらんだものだ。疑惑隠し・改憲に新型コロナウイルスを最大限政治利用している。同時に国家主義イベント「東京五輪実施のため、ウイルス流行の事実を矮小化しなければならぬ」との矛盾は、反中国・反

すものだ。だが今回は、東京五輪の開催や支持率などの雑念が入った政治家が、超法規的に事実上の隔離を判断した。法に基づかず身体拘束しているとも言え、医学史に残る不祥事となった。(毎日新聞、2月20日)

現在、感染経路が分からない感染者が各地で見つかっている段階で、感染規模の予測はできない。感染者の中には解熱剤を飲んで出勤していた医師がいた。発熱など体調が悪くても出勤しなければならぬ日本の企業優先の社会あり方こそが問題にされるべきだ。

安倍政権はコロナ対策として、テレワーク・時差出勤の推進、「不要不急のイベント中止」を求めている。にもかかわらず、安倍政権・東京都は東京五輪だけはそのままとしようとしている。新型コロナウイルス対策のためには不要不急イベント中止というのなら、聖火リレーなどの東京五輪向けイベントこそ不要だ。(2月22日) 藤岡雅順

同号をめぐっては、岩田健太郎(神戸大教授)が船内でグリーンゾーンとレッドゾーンの区分けがされていないことを動画で指摘(その後動画を削除。海外メディアは「防疫対策は疑いもなく失敗した」と安倍政権の対策のお粗末さを批判している。

上昌彦(NPO法人医療ガバナンス研究所理事長)は「検疫所長には検疫所長に大きな権限が与えられており、旅行者の健康と人権を考えると隔離の判断をする。本来は政治権力と一線を画



(5面から続く)

技能実習制度で行くこととなった。17年11月、技能実習法を施行して、技能実習1号、

2号に3号を付け加えた。19年6月時点で技能実習生数は36万7000人。前述のようにベトナム、中国、フィリピン、インド

いま世界で極右がメインストリーム化している。保守中道が極右の主張を取り入れ、極右が議会・政府の主要な部分を占めている。極右の世界観と天皇主義者の世界観は、ダブル。

反天皇制運動のグローバル化が必要。反天皇制運動は反ネオナチ・反極右の運動となっていく。いかならない。なぜ、世界規模で極右のさばるのか。冷戦崩壊で社会主義・共産主義が衰退。新しい社会の仕組みを出し切れない。社会主義が。社会主義には国家や民族などが付きやすい。

日本の統計で暴参り、宗教を見ると。1953年は7割が宗教を尊んでいて、一旦下がったが、今7割に戻っている。こういう「い加減な」人たちが天皇制を支える基盤。大衆習俗と天皇制を分けるべきと言われるが、分けられない。万世一系というのは宗教的権威で法律の外側にあり。アキヒトは『おことば』で『伝統の継承者として』といったが、伝統というのは法律の外側であり、伝統の継承というのとは明らかに異なる。天皇の伝統を内面化しているのが国民であり、その排外主義とヘイ

反天皇制運動のグローバル化を

「天皇神話」を撃つ！反紀元節行動

2月11日、「代替わり」に露出した「天皇神話」を撃つ！2・11反「紀元節」行動が都内で行われた。主催は同行動。140人が参加した。集会では、小倉利丸さんが講演。

「憲法は変わらない。どの国も持っていると言われるが、最高の理念だというのが、世界に200もある。『進歩的民主的理念』を持つ欧州が20世紀、2回も大戦争した。天皇制自体は日本固有だが、天皇制のような神話・非合理的な世界観という点では他も似たり寄ったり。

トの排外主義は表裏一体。ナルヒトの言う伝統は住んで来た人だけを真ん中に据えるもの。これに人権や社会問題に取り組んできた人からも異論が出ない。番組「池の水を全部ぬく大作戦」が人気だが、あの外来種排除の精神性は内側の優越性・純粋性を強調する精神性。よそ者排除と同じ、日本良いね番組も同じだ。

階級・格差・貧困の問題で伝統主義者の回答に心を揺さぶられる人たちが出てきた。左翼の衰退でオルタナティブがIS・極右になった。日本でも議員から男女平等を。集会後、神保町ヘデモ。途中、右翼が妨害を凶ったが、天皇制いらぬの声を響かせた。



嫌韓ナシヨナリズムと植民地主義 「慰安婦」・「徴用工」問題の研究を踏まえて

(下)

今田真人 ジャーナリスト

暴力団を雇う軍・警察

連行する場合、警察が全部やるのか。それは現実的に無理。

1938年4月、改正職業紹介法が国家総動員法施行とほぼ同時に施行される。改正職業紹介法は労働供給業者を国の下で、許可制にする。そして、労働調整令があり極秘通牒で、動員の対象職種の一つに「慰安婦」を明示している。

1941年12月16日、厚生次官依命通牒「労務調整令施行二関係ル件」の「令第7条第3号ノ認可方針」を見ると。

〔業態〕「認可標準」として
○ノ要求ニ依リ慰安所の必要ナル場合ニ厚生省ニ稟伺(ひんし)シテ承認ヲ受ケタル場合ノ当該業務ヘノ雇入ノミ認可ス

(4) 酌婦、女給

「○」というのは軍で、軍は天皇の軍隊で政府より偉いから極秘文書でも伏字になっていると思われる。

《軍の要求により、慰安所

人質的掠奪拉致ノ事例方多クナルノテアル、何故ニ事前ニ知ラセバ彼等ハ逃亡スル力、要スルニソコニハ彼等ヲ精神的ニ惹付(ひきつ)ケル何物モナカツタコトカラ生スルモノト思ワレル、内鮮ヲ通ジテ労務管理ノ拙悪極マルコトハ往々ニシテ彼等ノ身心ヲ破壊スルコトノミナラス残留家族ノ生活困難乃至破滅方屢々(しばしば)アツタカラテアル……

「出勤ハ全ク拉致同様な状態デアル」と自分で言っている。それは事前に知らせれば逃亡するから、「夜襲、誘出、其ノ他各種ノ方策ヲ講ジテ人質的掠奪拉致ノ事例方多クナル」と。

夜襲というのは安倍首相が一生懸命否定している《士足で踏み込んで人さらいのような》手法。

(八)、動員ノ実情

徴用ハ別トシテ其ノ他如何ナル方式ニ依ルモ出勤ハ全ク拉致同様ナクテアル其レハ若シ事前ニ於テ之ヲ知ラセバ皆逃亡スルカラテアル、ソコ夜襲、誘出、其ノ他各種ノ方策ヲ講ジテ

母や母親を連れて行くぞ、殺すぞと宣伝して脅す。朝鮮は儒教の国なので、自分が連れて行かれても祖父母・親が解放されるのならばと出てくる。だから、木刀で殴るどころの話ではない。連行対象が女性だったら、夫を捕まえる、父母を捕まえる。すごく悪い手法。警察官ではできない。ヤクザの発想。

本人。強制連行されるのは帰省していた朝鮮人の若者で、白い服を着た若者を追いかけるのは白い服を着た朝鮮人の小役人。目撃した成培根(ソン・ペクン)さん(1914年生まれ、慶尚南道寧昌郡出身)は、若者が山の中を逃げるのを朝鮮人の小役人が追いかけるのを「山が突然白くなった」と証言している(朝鮮人強制連行調査の記録―大阪編―1993年、朝鮮人強制連行真相調査団編著、柏書房)。

これは『赤旗』通信員が講演を聴き、内容を原稿9枚にまとめた、『赤旗』編集部(の吉岡吉典氏に届けたものを、金一勉が「たまたま貰った」荒松清十郎は日韓条約が結ばれたときの中心人物の一人。自民党政治家は「徴用工」も「慰安婦」も実態を知っていた。しかし、日本側からは一切話をしなかった。彼は日韓請求権協定の力

方法がある。東南アジアの国々に出している賠償金は債務賠償といって全然力ネは出してない。例えば間組があらへ行ってダムとか鉄道を作って、その金を日本の大蔵省が間組に支払えばよいのです。だから間組に1億円払ったという事にすればよい。野蠻国で鉄道を一度見たら死んでもよいという奴等が一ぱい居る国だから、それで済んでしまふ。こういう賠償なんだから、こんな計算の判らぬ社会党や共産党は馬鹿を通りこしてキチガイだ(原文ママ。『現代の眼』1972年4月号所収の金一勉「荒船暴言は未見の震災大虐殺を呼んでいる」から)

戦中朝鮮の人達もお前達は日本人になったのだからといって貯金をさせて1100億になったがこれが終戦でフイになった。それを返してくれと言ってきた。賠償といっても色々な

しい円の価値を有する日本の生産物及び日本人の役務を、この協定の効力発生の日から10年の期間にわたって無償で供与するものとする。

実際にお金を支払われたのは日本のセネコン。日本企業が韓国に行つて、地下鉄などを作つたが、日本人の役務で韓国人は雇っていない。韓国企業には金を払っていない。金は全部日本企業に払っている。全部日本に還流する仕組みを作つた。

では、有償2億ドルの貸付はどうか。協定では統一(1972年)現在において720億ドルに換算される2億合衆国ドルに等しい円の額に達するまでの長期低金利の貸付。

最近、桜を見る会で反社会勢力が注目を集めている。前述したように、労働供給業者というのは暴力団。戦前の特高警察幹部で公職追放された山本操・元山口県下関警察署長(山口県労務報国会下関支部長を兼任)が自伝『風雪五十年』(1972年、防長新聞社)の中で

「有史以来かつてない初めの敗戦による占領軍の進駐で、この取り扱いをどう

付けで、大韓民国政府が要請し、かつ、3の規定に基づいて締結される取極に従つて決定される事業の実施に必要な日本国の生産物及び日本人の役務の大韓民国による調達に充てられるものをこの協定の効力発生の日から10年の期間にわたつて行なうものとする。

つまり、韓国政府は日本からお金を借りて、日本人のセネコンを使って事業をしない。その借金は韓国政府が返済しないというの、日韓請求権協定の内容。

荒松暴言は自民党の本音。金は韓国でなく、日本に払ったんだと威張っている。日韓請求権協定で解決済みななどはとてもいえない。

「保良朝之助が中央政界に打って出たについては、次のようなキキヤツがあった。昭和4年(1929年)7月、張作霖爆殺事件の責任を問われて、内閣を解散した政友会の田中義一は久しぶりに郷里の山口県萩へ帰った。……田中は意地でも、前首相として、地元山口県を民政党の手に渡したくなかった。……長州藩士を父にもつ軍人(陸軍大将)の田中は、首相の座にたった2年間に、大胆な大陸進軍政策を推進し、東方会議を招集して、山東省へ3次にわたる出兵を行ない、国内では、これに反対する労働党、共産党の弾圧と治安維持法の変更を強行した。……博徒を利用するということは、当時の政界や軍上層部の常識であった。田中は、民政党の吉田磯吉に匹敵する人物を山口県で見出し

口県を中心に関西・中国・九州に勢力を持っていた暴力団・龍貢組の組長。龍貢組は手下の暴力団員が共産党員といわれた下関市議を刺殺する事件を起こしている。戦時中の大陸での経験を生かして、暴力団に頼んで、米軍向け慰安所を作つたという自慢話を自伝に書いていた。

日韓請求権協定の

カラクリ

自民党の政治家・荒松清十郎は1965年11月20日、秩父厚生会館での荒松代議士主催「時局講演会」(秩父郡市軍恩連盟招待)で以下のような講演をして

「戦争中朝鮮の人達もお前達は日本人になったのだからといって貯金をさせて1100億になったがこれが終戦でフイになった。それを返してくれと言ってきた。賠償といっても色々な

日韓請求権協定 第1条1 日本国は、大韓民国に対し、(a)現在において1080億圓に換算される3億合衆国ドルに等

反社勢力とつながる

政治家

「有史以来かつてない初めの敗戦による占領軍の進駐で、この取り扱いをどう

保良寅之助といひは山

口県を中心に関西・中国・九州に勢力を持っていた暴力団・龍貢組の組長。龍貢組は手下の暴力団員が共産党員といわれた下関市議を刺殺する事件を起こしている。戦時中の大陸での経験を生かして、暴力団に頼んで、米軍向け慰安所を作つたという自慢話を自伝に書いていた。

(8面へ続く)

当事者の声を聞け!!!

反貧困ネットワーク全国集会2020

当事者から 見える課題

2月15日、反貧困ネットワーク全国集会2020「当事者の声を聞け！」が、上智大学で開催された。集会では宇都宮健児さん（反貧困ネットワーク代表世話人）の挨拶の後、3つのテーマによる課題別、全国的な報告があった。竹信三恵子さん（ジャーナリスト）がコーディネイ



ターをした「当事者が置かれている実態から見える今の課題」では、赤石千衣子さん（NPO法人しんぐるまざあずふおーらむ理事長）が「新入学祝い金を受給した世帯の状況と新入学時の困難」を独自調査を元に報告。ひとり親世帯の

平均年収707万円に対し、母子世帯は200万円、父子世帯398万円。入学時にかかった費用は高校で30万円。2019年から4

万円が、支給額は子どもの1人160万円から3人270万円数による所得制限がある。

ひとりの親世帯は80%が働いているが4分の3が非正規、正社員でも24万円。2020年から児童扶養手当の支給が4ヶ月に1度から2ヶ月に1回になることには65%の人が「うれしい」と回答した。

岩崎詩都香さん（高等教育無償化プロジェクトFIRE）は、学費・奨学金に関する1万人実態調査を元に学生のリアルを報告。「日本はOECD諸国で下から2番目に低い教育支出、高授業料、低補助の国。学生の生活費は1日677円。今年度から実施される授業料の免除、給付型奨学金の修学支援法は、年収270万円未満の世帯が対象で非常に限定されている。消費税増税が財源。今まで支援を受けていた人の少なくとも2・4万人が給付を受けられなくなる。

大半の学生はバイトで稼いでいる。英語民間試験を延期させた高校生の運動が高等教育無償化への励みになった。韓国でも「大学登録金半額化運動」がおこり、2011年から負担が半減

した。3月ソウルを訪問する。白石孝さん（NPO法人官製ワーキングプア研究会理事長）は、「公共サービスを担う非正規公務員が3割を超えている。その7割が女性。欧米では圧倒的に公務員が担うヘルパーも民間

生活困窮者を 支援

第2セッションは白石孝さんがコーディネイターで、斎藤三三さん（特定非営利活動法人わっぱの会相談所）が生活困窮者に生活

資金貸与する「ソーネ基金」の取組を紹介した。「わっぱの会」は愛知県でも一番古くから活動している障害者の協同作業所などを運営している。2015年に生活困窮者自立支援法ができて4

つの事業を展開し、国、自治体から助成金などを得てさまざまな生活困窮者を支援している。

ところが、公費は人件費には充てられるが生活困窮者には1円も貸せない。生活困窮者自立支援法による10万円限度の緊急小口貸付金は愛知県で年間2人の利

用者しかいなかった。それで社会福祉法人共生福祉会が運営し、28団体が賛同（2019年11月現在）。個人・団体に寄付、出資を募ることにした。目的は「生活に困っている人や社会的に孤立している人」への「社会的、経済的自立が可能となる活動」をすることにあり

「生活に困っている人々への貸付」と「貸付対象者への生活支援活動を行う。2020年3月から運営予定だが、中日新聞が1面ですべて上げてくれたら寄附金目標1千万円に対し300万しか集まらなかったのに、貸付申し込みが多数あった（笑い）。

チョン・ソンオクさん（ソウル市東 北4区公共給食センター長）は、有機農産物を使用した完全無償化給食と公共給食の取組を紹介した。（前日はパルシステム生協でも報告会がされ注

悪質な 引き出し屋

第3セッションでは雨宮処凛さん（反貧困ネットワーク世話人）の進行で宮

城、埼玉、群馬、愛知、京都などからの報告。オリピック開催、開発による東

京都大田区、渋谷区などでの公園「整備」による路上生活者排除の実態も明らかにされた。ひきこもりの会

の弁護士と当事者からは「引き出し屋」と呼ばれている悪質な業者による事例が報告された。「ひきこもりの原因の6割は就労が原因。引きこもり家族の依頼で

半年で当事者を就労させ自立させるなどといった300万から500万円を受け取る」（弁護士）。発言した当事者は、4人ぐらいに車で拉致され、抵抗すると精神病院に連れ込まれ入院させられたという。（この業者を裁判で訴えているが倒産して隠れている）

キャバクラユニオンの布施りさんは「人がいない。金が無い。元気がない。キャバクラ問題は子どもの貧困、精神疾患、発達障害などが原因。月収10万円台と収入も下がっている」と支援者と当事者の厳しい現実を報告した。

今年の反貧困集会を通して感じたことは3つある。1つは格差・貧困問題の多様化、困難化が放置、継続されていることである。共通しているのは福祉、教育、労働問題は是正も自己責任に負わせる社会と政治を変えていくことの必要性である。

3つめは、財源がないという政府の教育、格差対策の所得制限などによる分断、不十分さに対して、課題を越えてつながる下からの取組と政治を変えていく方向性を合わせもった視点をもつことの大切さにあるため気づかされた。

（吉田和雄）

（7面から続く）

芸能人を引きつけての将兵慰問を、廃品回収系の親分は、軍需物資生産に必要な金属、繊維原料収集を、港湾荷役、輸送系の親分は兵站をというように、親分衆はそれぞれの機能に依じた分野で軍に協力したのであった（猪野健治著「ヤクザの系譜」連載第8回）から『新評』1971年10月号所収）

当時を知る世代にとつて、「慰安婦」「徴用工」の暴力的な強制連行は当たり前前の認識だった。当時を知る世代がほとんど亡くなった現在になってから、歴史価値の高い存在であった。大陸進攻が本格化するにつれて、軍の手ではまかないきれない仕事が生じ、軍上層部はこれを彼らに肩がわりさせることを思いついたわけである。

しかし、紹介したように古い文献には実態が載っている。それを知らない世代は大陸での将兵「慰安施設」を、興行系の親分は、煽っている。

「：土建系の親分は軍関係の土木工事を、遊郭系の親分は大陸での将兵「慰安施設」を、興行系の親分は、煽っている。

「1968」再考
「叛乱の時代」を問い直す
松井隆志

1968年 日本から見て
高橋武智 へ平連・脱走兵援助を語る
高橋武智

「糟谷孝幸の死」から50年
糟谷の反戦の遺志から日本原へ
内藤秀之

定価 500円 20年2月発行
発行 研究所テオリア

テオリア論集9
講座・1968〜69年反乱から50年